ゆい育成だより

第１２６号

平成28年12月10日（土）

発行：由井第一地区子ども会育成団体連絡協議会　（由井第一地区 地子連）

ＨＰ：http://www.yui1-chiku.chikoren.mydns.jp/

「夢パワー！笑顔ひろげる 子ども会」

『サブリーダー研修について』　地子連副会長　松田　和広

地子連では、年下の子ども達の面倒を見てくれる良いお兄さん・お姉さんとして、様々な場面で活動を盛り上げる子どもリーダー(サブリーダーと呼んでいます)を育成しています。

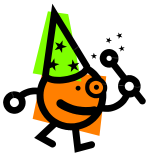
今年度も小学校4～6年生を対象として(3年生は体験参加) 年間8回のプログラムの中で、これまでに、当地区が実施する活動や、市子連主催行事への参加などの活動を行いました。子どもたちに人気のキャンプ(野外・宿泊体験)実施のほか、市制100周年を来年に控えたプレイベントとして「子どもフェスティバル(市主催)」が10月10日にあり、例年11月３日に開催される「文化の日子どもの集い」への参加と合わせ、文化・芸術に触れ、創作体験では実にたくさんの作品(おみやげ)をつくり、ニュースポーツ・ゲーム・模擬店などのいろいろな体験コーナーで実際に体を動かしたりと楽しく活動しています。地子連は、子どもたちに学校や家庭とは一味違う体験をしてもらいたいと考え、『サブ研』にはそれらの要素を多く盛込み、楽しみながらできるようプログラムを実施しています。11月は、行事の進め方として、実際に「クリスマス会」を題材に子どもたちが協力して会を盛上げる方法を学びます。歌、ゲーム、プレゼント交換、キャンドルサービス、どれもみな楽しみです。年間(約9か月)のプログラムを通して、参加者は貴重な経験を重ね、仲間とともに協力して活動することで思いやりの心が育まれ、逞しく成長することと思います。そして、学校や地域など様々な場面で「子どもリーダー」として活躍して欲しいと願っています。

『地域と子どもを繋ぐ子ども会』　打越中学校副校長　中山　昇

この4月より打越中学校に着任し、早いものでもう半年が過ぎました。体育祭や合唱祭など生徒たちの活躍の場面をたくさん見てきました。行事をはじめ、その他何事にも全力でぶつかっていく姿にいつも感心しています。そんな打越中学校の生徒の活躍を地域の中にも広げていけたらと考えています。生徒たちが地域の一員として、地域の行事や活動に積極的に参加し、地域との絆を深めてもらいたいと思います。

私が子どもの時に地域との関わりを持つ場になったものの一つに「子ども会」があります。小学生の時、子ども会の遠足で、茅ヶ崎の海へ行った時のことを今でも鮮明に覚えています。泳げなかった私は海が怖かったのと友達とスイカ割りなどをして遊んだことがとても楽しかったのを思い出します。その他にもクリスマス会などのイベントがあり、いつも楽しみにしていました。そんなことを通して、友達や地域の大人とふれ合い、自然に地域との繋がりを感じ取っていたのかもしれません。「子ども会」は地域と子どもたちを繋ぐ、とても良い機会を提供していると思います。

今は子どもたちにとって人との関わりや地域との関わりを持ちづらい時代かもしれません。だからこそ「子ども会」のような活動はより大きな意味を持ってくると思います。これからさらに、打越中学校の生徒も地域を愛し、地域に愛される存在になって欲しいなと思います。



平成２８年度サブリーダー研修会

平成28年9月17日・18日（土日）「檜原村人里休暇村のキャンプ」にて

１．川遊び　　地子連　弘田暢幸

今年のキャンプは、次々と発生しては雨を降らせる台風に気をもみながらの開催でした。直前まで台風で人里休暇村に行けない場合のプランも用意していましたが、初日は雨に降られることもなく順調に開催することができました。今年はお試しで参加した3年生の子どもたちが積極的に活動を盛り上げてくれました。

鉈を使った薪割り、ロープワーク、食事作りやキャンプファイヤーでのスタンツをサブリーダーの子どもたちと一緒に体験してもらいました。

日中はとても涼しく、夜はちゃんと寝袋に入らないと寒いくらいでした。二日目の川遊びは、上流で降った雨のせいで水かさが少し増していたため、遊ぶ場所を制限して行いました。遊べる場所に移動するために流れの速い場所を渡る必要があったため、ちょっとした冒険だったかと思います。それでも子どもたちは水の冷たさも途中から降ってきた雨もなんのその、水かさがさらに増えだしたために早めに引き上げるまで元気に遊んでいました。

２．飯盒炊飯の火おこし　　地子連　曽我貴美子

「飯盒でご飯を炊き、カレーを作るという研修」の一番大変であり、一番やりたい作業が、火おこしです。薪を組むこと、新聞を上手に使うこと、そしてマッチで火をつけ、うちわで火に風をおくること。普段マッチをこするという動作をしない子どもたちは、マッチをつけることが嬉しくなり、次は僕、次は私とマッチで火をつけるだけでなかなか、薪に火がつきません。ついてもすぐに消えてしまい、何度も何度も繰り返し、何とか火をおこそうと思う「あきらめない強い心」が芽生え、班の皆で工夫し協力していました。…やっとご飯が炊けました。

〈カレーの夕飯〉

〈川あそび〉

〈みんなでハイ、ポーズ〉

〈飯盒炊飯の火おこし作業〉

３．子どもたちのキャンプの感想　　　　　　　　　サブ研の３～６年生

◆「キャンプで楽しいこと」　　　　　　北野子ども会　由井第一小６年 [redacted]

キャンプで一番楽しかったことは、火をいじることです。苦手なことは、ロープワークです。何度かやっていますが、すぐに忘れてしまい、結ぶことができなくなります。キャンプファイヤーでは踊りが楽しかったです。川遊びは、冷たい川の中で浮いているのが楽しかったです。

◆「サブ研、最後のキャンプ」　　　　　北野子ども会　由井第一小６年 [redacted]

私は、3年間サブ研のキャンプに参加しました。今年は、寝る時、友だちと楽しい会話をした夜が楽しかったです。川遊びの水は冷たくて流れがはやかったけれど、友だちに水をかけたりしてとても楽しかったです。このサブ研でたくさん友だちをつくったり、やったことのない体験ができました。この3年間の経験を生かしてこれからも頑張っていきたいと思います。

◆「サブ研で得たもの」　　　　　　　　　　　　　　由井第一小５年 [redacted]

サブ研のキャンプで思ったことは、「協力」です。みんなではんごう炊飯をしたり、スタンツを考えたり、トーチ棒を作ったりなど、みんなで協力することが大切だと知りました。このキャンプで一番大変だったのは、はんごう炊飯です。火の調節、ご飯の加減などタイミングがむずかったです。酸素をおくりこんで火を強めるけど、へんな時にあおぐと火が消えてしまうことがわかりました。

◆「キャンプの思い出」　　　　　　　北野子ども会　由井第一小３年 [redacted]

楽しかったことは、川遊びと花火です。川の水は、冷たくてすごく寒かったけど楽しかったです。花火は、手持ちと打ち上げ花火をしました。打ち上げ花火の音にびっくりしたけどすごくきれいでした。むずかしかったことは、トーチ棒作りです。タオルを巻きつくところがやりにくかったです。子ども会のキャンプとはちがう体験があり、すごく大変でした。でも来年もがんばりたいです。

◆「班のリーダーとして…」　　　　北野子ども会　由井第一小５年 [redacted]

このキャンプでいろいろなことを学びました。点呼をする時、リーダーとして素早く並んで、「点呼だから早く並んで！」と言っても、班の人がしゃべっていてやっとそろったという感じでした。もっときびしく言ったほうがいいと反省しました。

夜のカレー作りでは、A･B班合同作業で、皆で協力しておいしく楽しく作れました。

班のリーダーとして、これからも精一杯頑張っていきたいです。

◆「キャンプに参加して」　　　　　　　　　　　　　　　長沼小５年 [redacted]

サブ研のキャンプに参加しました。みんなでいっしょに協力することができました。

一番楽しかったことは、カレー作りでした。班のみんなで協力しておいしいカレーができました。ありがとうございました。

◆「楽しかった初めてのキャンプ」　　　　　　　　　由井第一小６年 [redacted]

楽しかったことは、3つあります。1つ目は、はんごうをかまどで炊くところです。何回もマッチや新聞紙を使ってしまったけどご飯とカレー、おいしくできました。

2つ目は、夜の花火です。線香花火で友だちと競いました。1回勝って、2回負けました。

3つ目は、川遊びです。足をつけた瞬間凍りつきそうになるくらい冷たかったです。頭までつかっている人がすごいと思えるほどでした。

キャンプに行っていろんなことをしたけどこの3つが楽しかったです。また、行きたいです。

◆「キャンプに参加して思うこと」　　北野子ども会　由井第一小３年 [redacted]

サブ研のキャンプはとても楽しかったです。その中でもスタンツがもっとも楽しかったです。そうぞうい上にH君がおもしろかったので、わらってしまいました。

がんばったことは、はんごうの中でお米を洗うことです。じゃぐちで、米をとぐのを何回もつづけたことをがんばりました。

平成２８年度サブリーダー「クリスマス会」開催

平成28年11月26日（土）に、春日会館にて行いました。「進化ゲーム」、「猛獣狩りゲーム」、「ケーキとお皿」、「何でもバスケット」をすべてXmasバージョンに変えて盛り上がりました。サンタ登場の時には、「メリークリスマス！」と大きな声でクラッカーのひもを引き、紙吹雪が舞いました。その後、プレゼント交換をし、楽しい時間にみんな笑顔になりました。

★★　子ども会の活動、夏・秋・冬の行事いろいろ　★★

絹ヶ丘一丁目子ども会は、夏休みの最後の土日に自治会の夏祭りに模擬店を6つ出店しました。あいにく、二日間とも雨でしたが、たくさんの子供たちが来てくれ、盛り上がりました。4、6年生は夏休み中に練習した太鼓を披露してくれました。11月には自治会の文化祭に作品を出展しました。また文化祭前日にフラワーアレンジメント教室も開催し、素敵な作品で会場を華やかに盛り上げてくれました。今後の予定としては、初めての企画となりますが、お正月に書初め教室を開催します。自治会の書道サークルの方が指導してくださる予定です。2月にもお楽しみ遠足を企画していますので、いつでも入会をお待ちしております。　**会長：林清代美**

北野子ども会は、今年も行事盛りだくさんで楽しみました。まずは、恒例の宿泊キャンプで幕開けです。今年は夏休みに入ってすぐの7月30－31日に行いました。二日間とも晴天に恵まれました（少々、暑すぎ・・・）。飯ごう炊さんや、本格的キャンプファイヤーなど、子ども達はこれぞキャンプ！を存分に楽しみました。8月は和田盆踊りへの参加とラジオ体操を行いました。盆踊りでは、手作りの子ども神輿を担ぎ、近隣の練り歩きをしてお祭り気分を味わいました。また、今年は育成会での出店を広げて、フランクフルト、焼き鳥、枝豆、生ビールにチャレンジ。ただ、あまりの美味しさに自分達の消費が激しくて売り上げがイマイチとなってしまいほろ苦い夏の思い出。そして、夏休みの締めくくりとして8月22～25日の4日間にラジオ体操をして、スムーズに新学期を迎えられるようにしました。秋行事を少し休み、その間に育成会が、各種のイベントに出店して、出稼？？しました。10月10日の100周年記念子どもフェスティバルでポップコーン販売（10キロ近いコーン豆を鍋で煎って作りました）、11月3日文化の日子どもの集いでは、くじ引きとミルクせんべい販売。売り上げは多くはありませんが、少しでも子ども会活動の足しになればと奮闘する育成会の頑張りはありがたいことです。この後の冬からは、牛の搾乳体験やクリスマス会、おもちつきの六送会と行事がまた盛りだくさんになります。今は子ども会に入っていないご家庭も、すこしでも興味があれば体験OKなので、ぜひお声をかけてくださいね。　**会長：山本清美**

☆　今後の予定　☆

◇平成29年2月19日（日）新春子ども大会（市子連主催）
10:30～16:00　オリンパスホール　＊入場無料

◇2月25日（土）サブリーダー研修会認定式・閉講式（地子連主催）
15:00～16:00　春日会館

※地子連は、地域の子どもたちを元気で明るい笑顔になるよう応援していきます。